

# 新病院をよろしく 広報げろ 2012.08

## 新病院をよろしく

下呂市立金山病院は8月1日、新しく開院しました。それに伴い旧病院はその機能がすべて新病院に移され、約80年続いたその歴史を終えました。旧病院の運営に際しましては多くの方々に受診していただき病院を支えていただきました。また病院周辺の皆さんには防災訓練などで多大なご協力をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。また病院の老朽化による施設の不備が病院周辺の住環境を悪化させていたことに対しては心からお詫びを申し上げます。

◎新病院では床面積は旧病院の1.4倍になりました。これによって病院を運営する上で必要な最低基準は満たされましたが新しい機能が加わったわけではありません。診療体制は今までと全く変わりありません。

◎病院の運営は皆さんからの受診料によって成り立っているといつも申し上げていますが、受診したくてもその手段がない方が増えています。これは新病院でも同様です。地域での生活を支えていくためにも受診手段についてはボランティアなども含めて皆さんとともに考えていかなければなりません。病院を維持していくためにも最も重要な課題です。

◎新病院では検査、投薬などの事務的な処理にオーダーリングシステムを導入しました。操作に慣れるまでは診察に時間がかかり、待ち時間が長くなります。運営の正確性を期すためには避けて通れないシステムですのでよろしく願いいたします。

◎旧病院では検診を一般外来診療と同じ場所で行っていましたが、新病院ではこれを改めました。検診センターを設け、検診フロアへの出入と待合室は外来患者と分離し、一般患者との接触をできる限り少なくするようにしています。

◎新病院で唯一機能を拡充したのは人工透析です。金山病院での人工透析を希望する方が増えていますので地域での生活を支えるためにも増床し、5床から10床としました。対象者を増やすためには看護師を増やす必要があり獲得に努力しています。

◎新病院では経営効率から入院ベッド数を14床減らして99床としました。療養病床は旧病院では46床ありましたが施設の基準にあわず、十分な療養環境が得られていませんでした。1床あたりの面積を改善するとともに、下呂市の実情を考慮し49床としました。

◎肥満、糖尿病など生活習慣病や膝、腰の痛みを持つ方々には運動の必要性をお話しています。時間があれば隣接するスポーツセンターで運動療法士の指導の下に適切な運動を行うこともできます。院内には売店はありますが外来者用食堂はありません。旧病院でもご不自由をおかけしましたが、新病院では周辺施設をご利用いただけます。

◎新病院の建設は旧病院の施設設備の老朽化で診療の継続が困難になってきたことが唯一最大の理由です。加えれば同じ税金、同じ保険料、同じ医療費を払っているのだから受療環境は平等であるべきという理念の元に、皆さんのご意見を取り入れながら、多くを望まず身の丈に合った病院作りを目指したものです。新病院の運営にはおおきな困難を伴いますが皆さんが病院を受診されることが病院を支えます。職員一同もいっそうの努力をいたしますのでよろしく願いいたします。

下呂市立金山病院 院長